

ツール・ド・北海道2009実行委員会  
記者発表：5月19日（火）15時00分

## ツール・ド・北海道2009の概要について

### 1 はじめに

「ツール・ド・北海道」は、日本最初のステージレースとして開催されたのが1987年であります。

大会は、今回で23回を迎えますが、この間、第11回大会からは国際自転車競技連合（UCI）の公認大会として承認され、国際大会としても13回目を迎え、いまやアジア有数の国際ステージレースとして発展しており、海外からも多数のチームが参加を希望する定評ある大会であり、いわば「ツール・ド・フランス」の日本版でもあります。

競技は、1チーム5人のチーム成績と各個人の成績そして両方を争うステージレースであり、各チームの選手は、団体優勝を狙うのは勿論、チームエースに個人総合時間賞を獲得させようと様々な作戦でレースを展開します。

### 2 本年の第23回「ツール・ド・北海道2009」は、道北・道央地域を中心に9月9日（水）から13日（日）までの5日間、開催することになりました。

過去の道北コースは、これまでも6回開催しておりますが、前回は第20回大会（2006年9月13日から18日）で、3年振りの開催となります。

初日は、旭川市石狩川河川敷地（金星橋周辺）においてタイムトライアルを行い、午後、同場所からロードレースをスタートさせます。

大会期間中、6ステージを設けて各競技を行います。ロードレースは、旭川市～土別市、名寄市～豊富町、豊富町～下川町、そして最終日は、旭川市から十勝岳温泉を経て岩見沢市にてゴールします。

大会最終日は、札幌市モエレ沼公園の特設コースでクリテリウムを行い、全ての日程を終えます。関係自治体は27市町村となり、総走行距離は約705Kmになる見込みです。

なお、開会式は9月8日（火）午後6時00分から旭川市クリスタルホール「音楽堂」において開催致します。

以下、各ステージの概要は、次のとおりです。

### 3 各ステージの概要

第1ステージ 9月9日(水)

大会初日となる第1ステージは、石狩川河川敷地内(金星橋周辺)において1.6キロの個人タイムトライアルを行います。

第2ステージ 9月9日(水)

タイムトライアル終了後、午後から同場所からスタートし、花咲大橋から、標高440mの江丹別峠を経て土別市のふどう公園市民球場前にてフィニッシュする97kmのコースです。

第3ステージ 9月10日(木)

名寄市役所前からスタートし、幌加内の国道275号を走り、美深町、音威音府村、中川町を通過、そして日本海沿線オロロンライン(利尻礼文サロベツ国立公園)を走り、遠別町、天塩町を経て豊富町スポーツセンター前にてフィニッシュする183kmのコースです。

第4ステージ 9月11日(金)

豊富町役場前からスタートし、幌延町、中頓別町、枝幸町から美深町の松山峠を経て、雄武町に入りサンル牧場を経て下川町市街のにぎわいの広場にてフィニッシュする182kmのコースです。

第5ステージ 9月12日(土)

旭川市大雪アリーナ前からスタートし、神楽岡公園交差点から東神楽町、そして大雪山国立公園内の東川町、美瑛町から白金温泉、十勝岳温泉の標高1050メートルの山岳部を経て上富良野町、中富良野町、富良野市、芦別市、三笠市に至り、岩見沢市いわみざわ公園にてフィニッシュする180kmのコースです。

第6ステージ 9月13日(日)

昨年と同様に札幌市モエレ沼公園の特設コースを周回する1周2.75kmのコースで、22周61kmのクリテリウム競技となります。

### 4 本大会におけるステージの特徴

第2ステージは、第1ステージでのタイムトライアルを終了後、午後から比較的やや短いコースになりますが山岳コースを入れたロードレースで、土別市のサホークランド、羊と雲の丘から一騎に下りふどう公園内の球場前にてフィニッシュに入るというコースですが、フィニッシュの約5km手前位から急に道路幅員が狭くなり急カーブも多く、また、アップダウンもあり、丘陵地帯の厳しいコースになります。

第3、4ステージは、はじめは平坦なコースを走り、除々に山岳コースへと移り、日本海オロロンライン、そして利尻富士、国道沿いの白い風車、サロベツ原野と恵まれた北海道の大自然の雄大さを大いに堪能しながらレースを展開するコースです。

天候に恵まれれば景色も良く素晴らしいコースになりますが、天候が悪ければ日本海から吹き上げる横風を直接浴び、最悪のコースになります。

第5ステージは、通過する市町村が一番多いコースで、旭川市から東川町、美瑛町の市街地から大雪山国立公園の十勝岳の中腹を走り、十勝岳温泉を経て上富良野町から富良野市に下り、芦別市、三笠市の山間部を経て岩見沢市いわみざわ公園にある北海道グリーンランドの遊園地内の広場に入るコースで、やはり十勝岳の標高1、050メートルの山岳コースでの駆け引きが勝負の大きなポイントになります。

参加チームは、海外6チーム、国内登録8チーム、学生6チームの合計20チーム、100名の選手が参加予定されています。

## 5 市民レースの概要

今年の市民レースは、9月11日（金）旭川市石狩川河川敷地内においてタイムトライアルを行い、翌日にはロードレースを2コースに分けスタートしますが、Aコースは、上富良野町日の出公園内から98kmコースと、Bコースは、芦別市三段滝公園から49kmコースに分けて行われ、フィニッシュは第5ステージと同じ、岩見沢市いわみざわ公園になります。

また、13日（日）の最終日は、昨年と同様に札幌市モエレ沼公園特設コースで小学生から参加出来るクリテリウムを開催します。

今年の市民参加は約1,100名程度を予定しております。

なお、参加申込受付は6月中旬からの予定です。

なお、コースは、現在、管轄警察署や道路管理者と協議しながら進めておりますので最終的な決定していません。大会までに、工事等により若干のコースの変更があるかもしれませんのでご了承願います。

担当者 広報部長 武市 雅敏

TEL (011)222-5922

E-mail [tourde-h@spice.ocn.ne.jp](mailto:tourde-h@spice.ocn.ne.jp)

<http://www.tour-de-hokkaido.or.jp>